



ROTARY INTERNATIONAL

<ORIGINAL>

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

To Club Presidents and Secretaries of
District 260

事務所・〒488尾張旭市東大道町原田2570尾張旭市商工会館 Phone(05615)4-2622

10

ガバナー 奥谷博俊

Discover a New World of Service

15 MARCH 1985

昭和60年3月15日

見つけよう 奉仕の新生面



IGF
始まる



【写真】 新企画・ロータリークイズ
に湧く会場(右)と、その審判席(上)
(p. 5 参照)



雑 感

東尾張分区代理 山田 久雄

立春も過ぎ暦の上では春の訪れでございます。新郷瀬川の堤にツクシが頭を持ち上げて来るのもそう遠くない季節となりました。

月日の経つのは早いもので分区代理就任以来8ヵ月が経過致しました。その間事前訪問、公式訪問、新会員研修会、分区内国際奉仕・社会奉仕・青少年奉仕各委員長会議の開催等、慈父の如き、又知識豊かな奥谷ガバナーのご指導の下に、友情溢る各クラブのご協力のお蔭をもちまして、私の任務が1つずつ終わろうとしております。特に分区親善ゴルフ大会は好天に恵まれ、犬山カントリークラブに107名の参加をいただき、共に親睦を分かち合いました事は、誠に思い出多き楽しい有意義な大会であったと思います。又アジア大会への参加によって、あのマニラの飢餓に苦しむ幾十万の市民の現状を見まして、ロータリーとして何を為すべきかを痛感致しました。現在全世界の各地で飢餓に苦しむ幾百万の人々、病魔に冒されて苦しむ幾多のアジアの同胞を目のあたり見る時、私は今こそWCS(世界社会奉仕)の重要性を痛感致しました。私共日本人は、又ロータリアンは、終戦当時飢餓に苦しむ我が国民に全世界から寄せられましたあの暖かい救助活動に思いを走らせていただきたいと思います。私は赤津地区委員長と連絡を取りつつ、残された私の任期の中で是非この奉仕を実現したいと思っております。

私は事前訪問を通じて、

1. 本年度のR I 会長のテーマである「見つけよう奉仕の新生面」に各クラブが如何に取り組んで行くか
2. 地区内にて最も低い会員増強率を如何にアップさせるか

3. ロータリー財団、米山奨学会への寄与率を如何に向上させるか

この3点を重点目標として微力ではありましたが努力を続けてまいりました。

1月15日付月信で各クラブの前半期に実施した主たる事業のご報告をいただきましたが、各クラブ共に奉仕の理念の下に格別のご努力をいただき、徐々ではありますがその効果を上げておられるのを拝見致し、大変嬉しく感じております。ロータリーの運営に沈滞は許されません。わずかの月日でも常に前進あるのみでございます。東尾張分区では分区特有の試みとして、今後8ヵ年にわたり分区代理、I G F、新会員研修会、親善ゴルフ大会(年2回)のホストクラブが直前分区代理の加藤君の大変なる努力と決断に依り決められています。現在の私の立場から考えますと本当に有難い事でございます。如何にロータリーには勇氣と情熱が大切であるかを身を以て感じた次第でございます。

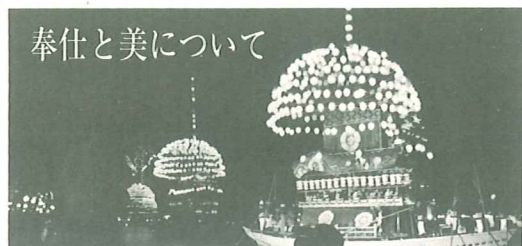
いよいよ私の任務の上からも年の最大行事でありますI G Fが3月17日と近づいてまいりました。森ガバナー代理の適切なご指導をいただきつつ、ホスト犬山クラブのI G F実行委員会とも連絡を取って計画を進めております。幸いにも分区内5人のパスト分区代理の先輩方の暖かいご助言等もいただき、漸くI G F運営の大綱がまとまりました。

1. 会場はワンフロー方式とする。
2. 部門は午前2部門(会長・幹事会、クラブ奉仕)午後2部門(国際奉仕、社会奉仕)とする。
3. 経費のかからない、実りのある討議の場とする。
4. 質疑討論の時間を多く設ける。

以上の基本方針に従って新しい会員は勿論でございますが記憶の徐々に薄れ行く古い会員の方にもI G Fを通じて今一度ロータリーを根本的に見なおしていただきたいと考えております。特に新しい会員の方よりの発言を期待致しております。各クラブの深いご理解とご協力、暖かいご友情により実りあるI G Fになりますようご祈念申し上げる次第でございます。

最後になりましたが国際R I第260地区の各

クラブがR I 会長のテーマにそって新しい奉仕活動に顕著な業績を上げられます事を心よりお祈り致します。



西尾張分区分代理 児玉秀雄

真と奉仕と美とは人間の文化活動を保証し刺激してやまない価値理念である。

たとえ健康や才能や富や快楽や名誉など一切を誇る人間がいても、その人が真と奉仕と美などの追求を怠るならば獣と変わらない。なぜならば、健康や快楽や才能などは、その具体的な状態は千差万別であるにしても、多くの動物の生態の中でどこにでも見出される現象だからである。

真が人間存在の意味であり、奉仕が人間存在の機能であるとするならば、美は存在の恵みないしは愛なのではなかろうか。

たとえば木曾川の土手に立って、冬枯れの尾張野を眺める。ふり上げば多度・養老山脈の新雪の美しさに心惹かれ、流れる雲とともに寒風の中立ち去り難い想いにひと時を過ごす。

風景は子供の頃に見た面影を残しているとしても、人の営みには起伏があり、人生流転の影を想い浮べるとき、しだいしだいにただの木曾の流れが、養老の山脈の風景とはまた趣きを異にした詩情を伴って、私たちに美しい風情を与えてくれる。つまり人間の知的な省察が加入した場合と、そうでない場合とでは、単なる風景に接しての美的形而上学体験であっても、その内容がおのずと違ってくることになる。

ものの美しさに目覚めた精神が、西の山脈を仰ぐとき、かの昔、その麓に展開された関ヶ原の合戦の様子や、この山脈を詠じた数多くの歌人、俳人たちの作品などが浮んでくる。

しかし山は逆に私たちの知的なゆとりを忘れ

させる程の圧迫感をもって、私たちの前にそびえ立ち、私たちはだかり夕日に燃え輝くのである。

ロータリーで一番問題になる奉仕の精神にしても、美と同じで感覚的に知覚される表面的奉仕もあれば、それとは異なって、知性がなければ発見されない深い奉仕もある。

現在、日本は経済問題を中心に、諸外国との間にさまざまなトラブルを抱えている。

そして、その多くは明治以来1世紀にわたって欧米の科学技術や社会システムを学ぶことのみ腐心し、真と奉仕と美を中心とした相互の文化活動の差異に目を向ける努力を怠ったことに要因があるのではないかと思う。

つまり真の奉仕は、人間の知性の求めてやまぬ理想ではあるが、その深奥は学問や宗教に縁のない人間には理解出来ない。しかし真が存在の機能であるとすれば、奉仕は、存在の恵みないし愛なのであろう。

岩村昇博士は、「共に生きるために —— 生きるとは分かちあうこと弱者と——」と言われる。

私たちは、美しい花、美しい夜空、川を山を眺めるだけですら救われた思いになる。卓越した美に接すれば、自然の、人間の偉大さにうたれ、自分が人間であることを誇りに思うであろう。奉仕もまた、いたずらに伝達されるものではなく、人間実存に点火されなければならないと思う。火は点じられても、自ら燃えないものは炎を出すことができないからである。



南信第一分区分代理 池上 真通

公式訪問のお伴をし、また、ガバナーの露払いを兼ねて各クラブを訪問し、さらに分区分内外の諸会合に出席して、各地ロータリアンの暖かい友情に接し、各クラブの活動をつぶさに見聞

させて頂く機会を与えられたことは、近隣クラブへも日頃ご無沙汰勝ちの私にとって、またと無い勉強のチャンスであり、分区分代理冥利に尽きる半年でありました。

市内クラブでは想像もつかない広くて遠いテリトリーのあちこちから、不便な交通を克服して例会に出席し、地域のニーズに適合した奉仕活動を展開しておられる山間地クラブの方々の姿。これらのクラブはメンバーの数も少ないことが通例のようですが、その中にあってパスト会長など長老会員が、委員会における責務をキチンと果たしておられる様子は、私の心を強く打ち善意と友情の有るところ、ロータリーはどんな場所へも根をおろし、無限に発展して行くものという感を深くしました。

奉仕の新生面ということで、会長さんはじめ役員方は、それぞれ工夫をこらして各奉仕部門の新生面に挑戦しておられますが、例えばクラブ奉仕の面では、アメニティークラブをテーマに掲げて健康快適なクラブ作りに邁進されるクラブ。地域の事情から増強が極めて困難とされる或る会長さんは、年間方針を“見つけよう奉仕の新会員”と謳いあげて増強に全力を傾ける等、カンセコ会長の呼掛けに明確に対応しておられました。

歴史の長いクラブ、新しいクラブいずれも特色を持った運営をされている中で、流石に古参

クラブには風格が感ぜられます。風格とは他の者に真似のできない、個性的で品格の高い価値ですから、これが形成されるまでには、クラブ創立当初の理念と情熱が長年にわたって伝承されなければならない。しかも常に活性を保って奉仕活動を続けて行くためには、やはり絶え間の無い増強、殊に老・壮・青年会員のバランスの良い構成が必要であるように感ぜられました。

これら古参クラブの長老方からは、創立直後から全員で取り組まなければならないチャーターナイトの準備を重ねる期間に、クラブの基礎が確立され、それが今日の伝統を生んだという述懐を何度かお聞きしました。クラブ会員同士お互いに知り合いを深め友情を厚くするために、いろいろと工夫されますが、クラブを挙げて1つの事業に取り組む。例えば地区大会や地区協議会、IGFなどのホストを引き受け、または周年記念事業を行い、或いはIACやRACの設立を手がける等、どれを取っても大変な仕事に違いないのですが、これらの事業に全員が参加して討議し、計画し、実行する。この過程にこそクラブ全員がお互いに理解を深め、友情を通わせ合うための得難い契機が見出されるのではないのでしょうか。新クラブ創立のためのスポンサーをつとめるという大事業がその随一であることは申すまでもありません。

「意義ある業績賞」岡崎南RCに授与決定



— 推薦の理由となった岡崎南RCの活動 —

体育振興委員会では各種優勝旗130本の寄贈を始め全国大会出場の青少年激励援助ほか。

海外交流委員会では米国バルボアRCと姉妹提携、会員家族・中学生の親善訪問等活発に交流し、これが契機で両都市間の姉妹提携が実現。

国立研究所交流委員会では交流基金を設けて市民の認識と理解を深め、青少年への科学教育の振興、来岡中の研究者・家族との親交を計るなど国際奉仕活動にも顕著な功績を収めた。



IGFを顧みて

尾張第1分区

ガバナー代理 山田市三郎

尾張第一分区代理 宮本 邦蔵

2月17日(日)は快晴ではありましたが、風の強い寒い日でありました。

尾張第一分区のIGF。登録会員332名、特別出席者、分区外、実行委員会のメンバーを加えて約370名のロータリアンが、例年に比し早い開会を意に介せず、8時半頃から続々と会場に集って来られました。

今回の目的は3点であります。第1の「国際奉仕について」は、東南アジアで医療奉仕につとめておられる神戸大学医学部教授岩村昇博士の「共に生きるために一生きるとは分かちあうこと弱き者と一」の講演によって、我々も奉仕の手懸りを掴もうというものです。また、ロータリーソングを「四つのテスト」「R-O-T-A-R-Y」の僅か2つですが、練習して、クラブの例会での明るいムードづくりに役立たせることができないか。これが第2であります。



【写真】講演中の岩村昇博士

第3に「ロータリークイズ」。当日その会場で出題して、古い方も新しい会員も復習・勉強しようという趣向であります。

90分にわたる岩村博士のご講演、しわぶき1つなく、喰い入るような眼で、感動をもって聞き入られる会員諸兄、会場に湧する大合唱、笑いを交えた和やかなロータリークイズによる勉強、リーダーとして、又、主催者側の一員として大きな喜びでありました。

ガバナー代理山田市三郎PGからは次のようなご講評がありました。

「多数の方が出席され、親睦を深め有意義であった。過去のIGFとは違った方式で運営されたが、岩村先生の講演は体験からしみ出た奉仕の原点を強く訴えられたものであり、続くロータリーソングは気持ちがよかった。ロータリークイズも基本問題を捉え、勉強になり興味があった。今後共勉強をつづけられたい。実行委員会の準備もよく、全員よく協力された。有意義なIGFであり、よき点を与えたい。」

ほっとすると同時に、一時に疲れを覚えしました。今回のIGFに出席された会員諸兄のお役に立つかどうか、変わった形式で独善に陥っているのではないか、当日まで反省しきりでありました。

私の足らざるところを補って、自ら範を示して下さった諸先輩、この1年間心魂を傾けて準備に没頭していただいた実行委員会の方々、心広く、計画をご容認いただいた奥谷ガバナー、暖かい指導をされた山田ガバナー代理、休日の一日を勉強に捧げて下さった19ロータリークラブの諸兄に心からの感謝を申し上げる次第であります。(宮木記)

財団法人ロータリー米山記念奨学会寄付一覧表

昭和59年12月31日現在（単位：円）

クラブ名	半期 1名当り	本年度特別 寄 付 金	過去累計	クラブ名	半期 1名当り	本年度特別 寄 付 金	過去累計
茅 野	2,000		708,000	岩 倉	1,500		1,518,000
富 士 見	1,500(年)	600,000	1,734,500	刈 谷	1,500	922,117	6,943,833
白 馬	1,250		706,500	春 日 井	1,500	739,000	8,139,050
飯 田	1,000		2,960,900	小 牧	1,250	300,000	5,072,700
飯 田 南	1,000		1,542,500	江 南	1,000		3,419,382
飯 島	1,000		1,349,200	名 古 屋	1,500	2,730,000	12,945,400
伊 那	1,250	60,000	3,817,500	名古屋千種	1,000	300,000	1,393,000
軽 井 沢	1,500	1,800,000	3,426,750	名古屋空港	1,500	150,000	5,907,250
木 曾	750	10,000	2,290,000	名古屋東	1,500		4,459,200
駒 ケ 根	1,000	10,000	2,383,050	名古屋名東	1,500	361,000	2,848,034
小 諸		1,000,000	8,372,800	名古屋名北	1,500	2,000,000	5,725,750
丸 子	1,000	50,000	1,413,150	名古屋瑞穂	1,500	300,000	3,274,000
松 川	1,000		991,400	名古屋守山	1,500	150,000	5,165,256
松 本 本	1,000	540,000	4,195,650	名古屋中	1,500	405,000	5,267,750
松 本 東	1,000	200,000	229,000	名古屋北	1,500	200,000	9,078,600
松 本 南	1,000	69,400	2,862,090	名古屋南	1,500	150,000	6,351,500
松 本 西 南	1,000	250,000	1,762,000	名古屋東南	2,000	583,000	3,669,850
南 佐 久	1,250	77,000	839,000	名古屋和合	1,500	605,000	4,154,500
箕 輪	1,000		669,250	名古屋西	1,250		5,865,950
長 野	2,500		4,025,400	西 春 日 井	1,000	1,265,945	5,692,786
長 野 東	2,250		2,189,000	西 尾	750	320,000	10,440,400
長 野 北	1,500		175,000	岡 崎	1,000	506,600	9,388,000
長 野 南	1,000	105,000	788,000	岡 崎 東	1,000	173,280	3,993,715
中 野	1,000		874,750	岡 崎 南	1,000	1,238,000	9,370,650
岡 谷	1,000		2,933,900	奥 三 河	1,250	180,000	2,037,000
大 町	1,000	127,782	2,404,397	尾 張 旭	1,000	644,000	2,501,387
佐 久	1,500	50,000	3,460,500	尾 張 中 央	1,000	50,000	186,000
塩 尻	1,000		761,250	名古屋港	1,500	305,000	5,921,000
諏 訪			2,050,650	瀬 戸	750	2,575,000	5,361,179
須 坂	1,000		491,000	瀬 戸 北	1,000		2,953,050
辰 野	1,000		2,346,400	新 城	1,000		1,665,950
戸 倉 上 山 田	1,500		985,400	田 原	1,000		3,769,300
上 田	1,000	15,750	1,823,850	高 浜	1,500	171,000	1,877,935
上 田 東	1,000	384,250	3,769,500	東 海	1,750		3,752,186
あ ま	1,250	650,000	5,904,250	常 滑	1,500		4,793,450
安 城	1,250		2,746,700	豊 橋	1,000	920,000	13,692,340
渥 美	1,250	250,000	3,168,100	豊 橋 北	1,000	586,000	6,355,735
尾 西	1,250		1,742,000	豊 橋 南	1,000	230,000	5,030,298
蒲 郡	1,000		3,104,750	豊 川	1,000	330,000	4,097,500
半 田	1,000	353,000	3,560,700	豊 田	1,000		3,503,400
半 田 南	1,000	180,000	911,000	豊 田 東	1,000	600,000	3,136,000
碧 南	1,000	366,000	3,589,750	豊 田 西	1,000	300,000	2,210,250
東 知 多	1,000	117,989	2,719,271	津 島	1,250	300,000	3,527,500
一 宮	1,000	370,000	5,499,664	年 次 大 会			500,000
一 宮 北	1,000	77,000	3,488,210	そ の 他			141,000
稲 沢	1,250	52,000	3,046,450	計		28,355,113	332,453,912
犬 山	2,000		2,420,364				
一 色	750		2,123,450				

寄付額・出席率ともに 極めて良好です…

今年度7月から1月までの集計結果、未だ半年にもかかわらず米山記念奨学会寄付は既に昨年1年分近く、出席率も非常に好成績です。

米山記念奨学会寄付（単位円）

（年度）	（特別寄付年度額）	（米山功労者数）
1980～	27,836,556	53
1981～	21,024,372	36
1982～	27,223,362	71
1983～	31,032,291	64
1984～（1月迄）	30,406,214	69

年度出席率	地区平均	尾張1	東尾張	西尾張	三河1	三河2	東北信	南信1	南信2
1982～83	97.38%	98.65	99.31		97.05	98.45	95.02	94.53	98.64
1983～84	97.42%	98.70	99.55	99.35	97.01	98.67	94.36	94.31	98.66
1984～85 7～1月	97.97%	98.89	99.68	99.28	97.11	99.24	96.59	94.94	98.61

ローターアクト海外研修を終えて

第260地区ローターアクト

地区代表 栗本雅司

去る2月8日(金)午後、名古屋空港をあとにして、空路、台北を経て高雄へ、そして今回の訪問先である潮州市へと、3泊4日の予定で出発しました。

ローターアクトの海外研修も今回で5度目となり、クラブ増加に伴い25名という、今までで最多の参加メンバーを数えることになりました。

潮州への到着は、天候の都合等で予定より1時間ほど遅れましたが、潮州RC(RI第347地区)の王武男会長はじめ、会員とご家族の方々の暖かい歓迎にあい、その夜はホームステイで、会員の方々のご家庭に泊めていただき、日本語の通じない人とは、身振り、手振り、又、筆談等で、お互いの意志を伝えあい、楽しい一夜を過ごし、本当に貴重な体験が出来たのではないかと考えております。

翌日は午前中、小雨の降る中を高雄市内を見学し、午後は南部の墾丁国家公園、鵝鑾鼻(ガランピン)を見て回り、古代中国の建築様式で建てられた、青年活動中心という、台湾の大学生達が研修する宿舎に泊りました。

翌10日は午前6時に出発し、高雄へ、そして汽車で台北へ向い、故宮博物館、中烈祠を見学し、その翌日には、また雨の中、龍山寺、総統

府、中正記念堂等をバスの中から見て回り帰路に着くというものでありました。

今回の研修旅行では、潮州RCの方々のお世話で、普通の観光旅行ではとても味わえない貴重な体験を数多くし、又、台湾の人々との交流の中で、お互いに持つ偏見もなくなったのではないかと考えております。

また、11日の帰国時には飛行機のエンジントラブルで、もう一泊余分に宿泊するというハプニングもあり、団員一同、目には見えないおみやげを、たくさん持ち帰ったことと思います。

最後になりましたが、お世話になった潮州RCの方々、又、姉妹提携の關係にあり、今回の訪問団の顧問として同行願った江南RCの岸昭治様、岩田洋二様、ならびに關係ロータリアンの方々に厚くお礼申し上げます。

今後も、このような研修が続けられ、より多くのアクターが、アクトに入会しなければ出来ない貴重な経験を重ねていただきたいと考え、ロータリアンの皆様のご理解とご協力をお願い致します。



1985-86年度のための国際ロータリー第260地区地区協議会開催ご案内 小諸ロータリークラブ地区協議会実行委員会

この度、小諸ロータリークラブがホストとして下記の要領により地区協議会を開催いたしますことになりました。

ご多忙のところ、万障お繰り合わせの上、ご出席下さいますようご案内申し上げます。

日 時 昭和60年 4 月21日(日)

登 録 8:45～9:15

本会議及び分科会 9:15～14:00

場 所 本会議場：小諸市民会館
1 階大ホール

分科会場：小諸市役所
小諸商工会議所
小諸市農協会館
小諸市立図書館
小諸電報電話局

登録料 I) クラブ負担金 ¥80,000 (10名分)

II) 一般参加者お一人 ¥8,000

参加者 (1)出席義務者 8 分科会10名

1. 次期クラブ会長
次期クラブ幹事
2. 次期クラブ奉仕委員長
3. 次期会員増強委員長
4. 次期職業奉仕委員長
5. 次期社会奉仕委員長
6. 次期青少年奉仕委員長
7. 次期国際奉仕委員長
8. 次期ロータリー財団委員長
次期米山奨学委員長

(2)一般参加者

(3)特別参加者

1985～1986年度国際ロータリー第260地区地区協議会分科会一覧表

統括

L ガバナー 奥谷 博俊(尾 張 旭)

〔第1分科会〕会長幹事部会

L ガバナーノミニー 福田 浩三(名古屋空港)
A バストガバナー 鯨谷賢太郎(名古屋)
" 地区幹事 出分 龍三(尾 張 旭)
" 次期地区幹事 川口 卓男(名古屋空港)
" 地区会計長 松原 勝明(尾 張 旭)
" 次期会計長 加藤 俊夫(名古屋空港)
A L 尾張第1分区分代理 宮本 邦蔵(名古屋西)
" 次期東尾張分区分代理 松永金次郎(江 南)
P 次期ロータリーの友委員会委員長 鈴木宗太郎(長 野)

〔第2分科会〕クラブ奉仕部会

L バストガバナー 加藤直一郎(岡 崎 南)
A " 安野 謙次(一 宮)
A L 三河第1分区分代理 三高 宏(奥 三 河)
" 次期尾張第1分区分代理 吉田 市郎(名古屋)
P 次期クラブ奉仕研究小委員会委員長 中村 繁男(岡 崎 南)

〔第3分科会〕会員増強部会

L バストガバナー 奥澤 俊一(松 本 南)
A L 東尾張分区分代理 山田 久雄(大 山)
" 次期東北信分区分代理 星野 晃良(軽 井 沢)
P 次期会員増強委員会副委員長 福田 源一(江 南)

〔第4分科会〕職業奉仕部会

L バストガバナー 藤原 正男(諏 訪)
A " 原 享二(飯 田)
A L 西尾張分区分代理 児玉 秀雄(津 島)
" 次期南信第2分区分代理 石原 桃介(駒 ヶ 根)
P 次期職業奉仕研究小委員会委員長 水野 民也(名古屋千種)

〔第5分科会〕社会奉仕部会

L バストガバナー 山田市三郎(名古屋南)
A " 近藤友右衛門(名古屋)
A L 東北信分区分代理 荻原 雅(小 諸)
" 次期三河第2分区分代理 岡田 一秀(岡 崎 南)
P 次期社会奉仕研究小委員会委員長 内山 照美(豊 橋 南)

〔第6分科会〕青少年奉仕部会

L バストガバナー 川瀬 保(名古屋南)
A " 佐藤 知雄(名古屋東)
A L 三河第2分区分代理 宇野 俊夫(岡 崎 東)
" 次期南信第1分区分代理 吉江 親正(塩 尻)
P 次期青少年奉仕委員会副委員長 中里三七雄(軽 井 沢)
" " 福山 巧(名古屋南)

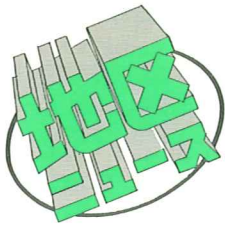
〔第7分科会〕国際奉仕部会

L バストガバナー 森 泰樹(豊 橋)
A L 南信第1分区分代理 池上 真通(松 本 南)
" 次期西尾張分区分代理 足立 舛一(一 宮 北)
P 次期国際奉仕委員会副委員長 下郷弥太郎(名古屋東南)
" 次期青少年交換委員会小委員長 加藤 一三(名古屋北)
" 次期世界奉仕委員会小委員長 赤津賢太郎(名古屋南)

〔第8分科会〕ロータリー財団米山奨学会部会

L バストガバナー 大隈 孝一(名古屋)
A L 南信第2分区分代理 加藤 徳夫(飯 田)
" 次期三河第1分区分代理 山内 彊(豊 橋 北)
P 次期ロータリー財団委員会副委員長 酒井 博(駒 ヶ 根)
" " 浅野 甚七(名古屋)
" " 楠 仙三(名古屋)
" 次期米山奨学委員会副委員長 河合 利周(名古屋北)

注) L=リーダー、A=アドバイザー、AL=アシスタントリーダー、P=パネラー



◀ 会 合 報 告 ▶

●名古屋RC創立60周年記念式典

2月7日(木)名古屋観光ホテルにて、国際ロータリー80周年の記念式典を兼ねて盛大に挙行。昨年1月当クラブ訪問のスケルトン会長インタビューはじめ今年1月の例会まで1年がかりで完成したビデオ「2001へのメッセージ」を上映、記念事業に下園公園内のあずまや友愛亭を市に寄贈、R財団や米山記念奨学会への寄付など盛り沢山の行事が相次ぎました。

●半田南RC創立5周年記念式典

2月19日(火)住吉福祉文化会館にて奥谷G以下の来臨を得て挙行。記念事業に半田市立博物館に道路案内標識を、また武豊町立民族資料館へ記念品をそれぞれ寄贈、5周年記念誌を発行、その他活発な各種活動が紹介されました。

◀ お 知 ら せ ▶

●アフリカ難民への義援金

豊橋南RC、蒲郡RCより、アフリカ難民救済義援金として多額の寄付がガバナー事務所によせられました。

計 報

2月17日	天 野 茂 殿	(豊 田 西)
23日	笠 間 竹次郎 殿	(名 古 屋 北)
25日	三 浦 秀 文 殿	(名 古 屋)
27日	尾 関 順 次 殿	(江 南)
28日	百 瀬 博 殿	(伊 那)

おめでとう

新ポール・ハリス・フェロー

丹羽 那一(尾張中央) 太田 和宏(名古屋南)
岩田 栄美(尾張中央) 村尾 喜助(豊 川)
吉江 清朗(辰 野) 柳田 忠(小 諸)
丸山 幸一(豊 橋) 杉浦 忠温(高 浜)
越知 専(豊橋北)

新米山功労者

下郷弥太郎(名古屋東南) 清水 一男(豊 田)
沢野 芳男(名古屋東南) 佐々木 努(豊 田)
鈴井 桂夫(名古屋西)

●円・ドル換算レート変更

4月1日より1\$258円で計算されます。

◀地区行事予定▶(追加分)

3月12日(火)地区奉仕委員会(於名鉄岡崎ホテル)
3月23日(土)分区分代理会議(於中日パレス)
4月13日(土)一宮RC創立35周年記念式典
4月29日(木)江南RC創立20周年記念式典

◀次期地区大会企画委員さま▶

委員長	ガバナーノミニー	福田 浩三
副委員長	ガバナー	奥谷 博俊
委 員	バストガバナー	森 泰樹
委 員	バストガバナー	加藤直一郎
委 員	バストガバナー	大隈 孝一
委 員	バストガバナー	奥澤 俊一
委 員	大会委員長	高沢 隆
委 員	大会幹事	石川 和昌
委 員	次期地区幹事	川口 卓男
委 員	地区幹事	出分 龍三

米山記念奨学会特別寄付

(単位:円)

日 付	クラブ名	個人数	寄付金額	日 付	クラブ名	個人数	寄付金額	日 付	クラブ名	個人数	寄付金額
1/4	岡 崎 東		5,549	1/17	豊 橋 北		4,000	1/29	名 古 屋 南	6	60,000
4	松 本	7	70,000	23	長 野 北		75,000	30	豊 田	3	630,000
14	名古屋東南	2	500,000	24	高 浜		12,552	31	名 古 屋 北	3	180,000
16	岡 崎 南	1	10,000	26	半 田 南	1	30,000	31	松 本 南	1	10,000
16	名古屋西	1	300,000	28	豊 橋 北	1	30,000				
17	岡 崎	2	30,000	28	上 田 東	1	30,000				

昭和60年 2 月

分 区 別 会 員 数 及 び 出 席 率

△印減(7月1日比)

分 区	クラブ名	会 員 数	出 席 率	例 会 数	昭 和 5 9 年 会 員 数	増 減
尾 張 第 一 分 区	半 田	67	96.25	4	68	△ 1
	半 田 南	48	99.45	4	47	1
	東 知 多	51	94.00	4	49	2
	名 古 屋	224	95.48	4	215	9
	名古屋千種	55	98.61	4	55	0
	名古屋東	101	97.95	3	95	6
	名古屋北	100	100.00	4	97	3
	名古屋北	57	100.00	4	56	1
	名古屋東	61	100.00	4	58	3
	名古屋南	118	100.00	4	112	6
	名古屋港	110	99.76	4	106	4
	名古屋瑞穂	67	100.00	4	63	4
	名古屋守山	83	99.67	4	86	△ 3
	名古屋中	106	99.37	3	102	4
	名古屋西	147	99.11	4	148	△ 1
	名古屋大須	40	96.87	4	—	40
	名古屋東南	80	100.00	4	81	△ 1
	名古屋和合	86	100.00	4	84	2
	東 海	57	98.24	4	51	6
	常 滑	63	97.20	4	64	△ 1
	20 C	1,721	98.60	—	1,637	84
東 尾 張 分 区	犬 山	77	100.00	4	76	1
	岩 倉	34	100.00	4	34	0
	春 日 井	84	100.00	4	82	2
	小 牧	68	100.00	4	67	1
	江 南	64	100.00	4	65	△ 1
	名古屋空港	63	100.00	3	61	2
	尾 張 旭	47	100.00	4	47	0
	瀬 戸	82	100.00	4	77	5
	瀬 戸 北	50	99.50	4	51	△ 1
	9 C	569	99.94	—	560	9
西 尾 張 分 区	あ ま	79	99.58	3	79	0
	尾 西	55	97.55	3	54	1
	一 宮	94	99.18	4	90	4
	一 宮 北	83	98.78	4	79	4
	稲 沢	54	98.61	4	53	1
	西 春 日 井	62	95.08	4	64	△ 2
	尾 張 中 央	37	100.00	4	36	1
	津 島	80	100.00	4	76	4
	8 C	544	98.60	—	531	13
三 河 第 一 分 区	渥 美	58	91.81	4	57	1
	蒲 郡	75	93.96	4	70	5
	奥 三 河	58	84.05	4	56	2
	新 城	54	95.37	4	51	3
	田 原	72	98.94	4	72	0
	豊 橋	119	99.53	4	121	△ 2
	豊 橋 北	107	99.27	4	107	0
	豊 橋 南	76	99.54	3	77	△ 1
	豊 川	83	95.07	4	83	0
	9 C	702	95.28	—	694	8

分 区	クラブ名	会 員 数	出 席 率	例 会 数	昭 和 5 9 年 会 員 数	増 減
三 河 第 二 分 区	安 城	72	100.00	4	71	1
	碧 南	69	97.78	4	69	0
	一 色	51	98.53	4	49	2
	刈 谷	87	98.47	3	83	4
	西 尾	79	99.68	4	77	2
	岡 崎	98	99.10	4	92	6
	岡 崎 東	68	99.62	4	63	5
	岡 崎 南	79	99.67	4	79	0
	高 浜	42	100.00	4	44	△ 2
	豊 田 東	93	99.73	4	89	4
	豊 田 西	60	99.57	4	61	△ 1
	豊 田 西	76	99.56	3	74	2
	12 C	874	99.31	—	851	23
東 北 信 分 区	軽 井 沢	45	95.27	3	38	7
	小 諸	64	94.76	4	63	1
	丸 子	39	90.92	4	37	2
	南 佐 久	27	92.59	4	26	1
	長 野	93	98.60	4	95	△ 2
	長 野 東	76	98.94	4	76	0
	長 野 北	52	96.00	4	50	2
	長 野 南	34	100.00	3	35	△ 1
	中 野	48	95.84	4	44	4
	佐 久	43	96.51	4	38	5
南 信 第 一 分 区	須 坂	44	93.50	4	45	△ 1
	戸 倉 上 山 田	42	100.00	4	37	5
	上 田	68	94.74	3	63	5
	上 田 東	60	96.98	4	57	3
	14 C	735	96.05	—	704	31
	茅 野	29	87.03	4	26	3
	富 士 見	36	81.85	4	32	4
	白 馬	38	88.15	4	37	1
	木 曾	47	91.94	4	48	△ 1
	松 本	79	99.65	4	73	6
南 信 第 二 分 区	松 本 東	36	91.54	4	29	7
	松 本 南	82	100.00	3	80	2
	松 本 西	49	97.96	4	47	2
	岡 谷	67	98.88	4	65	2
	大 町	60	93.92	4	62	△ 2
	塩 尻	45	100.00	4	40	5
	諏 訪	58	93.10	4	60	△ 2
	12 C	626	93.67	—	599	27
	飯 田	89	99.66	4	87	2
	飯 田 南	81	100.00	4	79	2
南 信 第 二 分 区	飯 田 島	34	96.72	4	33	1
	伊 那	85	98.98	4	82	3
	駒 ヶ 根	61	100.00	4	62	△ 1
	松 川	70	97.63	4	55	15
	箕 輪	31	96.66	4	31	0
	箕 輪 野	50	100.00	4	51	△ 1
	8 C	501	98.71	—	480	21
	計	92 クラブ	6,272	98.55	6,056	216

◎ 6 % 増強達成 ○ 3 % 増強中